

登小だより



皐月号



登立小HP

文責 校長 田崎正明

善き習慣

本校には、のびっ子の善き習慣があります。特に朝の子供たちの姿には心が動きます。登校時には、班をリードする高学年の子供たち

五月も終盤を迎え、日中は汗ばむ季節となりました。学校では五月二十八日(日)の運動会に向けて、のびっ子が動き出しています。教室、運動場から「いち・い・さん」「ソール」と元気の掛け声が聞こえてきます。活気に満ちた登小です。先日は児童会の代表委員会が開かれ、運動会スローガンの検討が行われました。のびっ子一人一人の期待が込められた素敵なスローガンが出来上がりました。先に開催された児童総会に続き、学校生活の中での目標を明確にし、進むのびっ子たちです。笑顔大作戦のミッション「元気をつくりだす」ことを実現してほしいと願います。晴天の下での運動会の成功と、子供たちの生き生きとした姿を期待します。

「すすんで、自分で、自分たちで」の行動が活発になってきたのびっ子達です。



今年度の のびっこスローガン

ありがとうのきもちをわすれずに
目標をめざして
すすんでがんばるのびっ子

児童会のスローガン



代表委員会の様子

運動会スローガン

みんなでつなげ心のバトン
最後まであきらめない 最高の運動会

育成を目指す資質・能力～可視化、方法化し、指導と評価を明確化しながら育成を図る

方法を「選択し」物事に主体的に取り組むことができるのびっ子個々の「自律性」

自律した人間として、他者との関わりを大切にしながら、よりよく生きる

他者と協働し、主体性をもって学習に取り組む

自ら健康で安全な生活様式を選択し実現する

〔資質・能力育成への方途〕

選択を主体性へと高めるために「指導」を充実させ、主体性を自律へと高めるために「評価」を充実させる

私たち登立小の教職員には、育成を目指す子供たちの資質・能力があります。大きくは「自主性」の育成です。そのために「主体的態度」を重視した指導を展開していきます。そして、その手段として「選択」できることを身に付けさせていくという構えです。上図のように「方法」を選択し、物事に主体的に取り組むことができる自律性を子供たち一人一人に育成していくことを教育活動に根幹に据えています。その教育実践によって、本校教育目標「心と頭と体をつかいのびす子供の育成」を実現するという学校経営構想です。先日のPTA総会の際にも説明したものです。まずは、学習を通して、「選択する」という体験を積み重ねていきます。その活動により、「できなかつたことができたようになった」により、「わからなかつたことがわかるようになった」を実感させていきたいと考えます。この体験を子供たち一人一人に成功体験としてとらえさせ、心を動かしながら本物の力として定着するようにと本校教職員一丸となって教育指導を行います。皆様方のご理解と、ご支援よろしくお願いいたします。



登立の態度(身構え)

豊かな生活をおくるためには、物事を上手くとらえるための土台、相手に善く関わるための土台づくりが必要です



登立の学び

徹底して子供たち一人一人に関わります。みんなで学びを進めていきます。時代のニーズ・未来への対応を視野に入れた学習指導を行います。

災害から命を守るために

災害に強い学校であるために、市当局と連携しながら校舎施設の整備に取り組んでいきます。アンテナを高く持ち、強靭さ、利便性等の災害に強い学校施設の実現を目指します。そして、もう一つ。子ども達への防災教育、危機管理能力の育成を図ります。私たち教職員の危機意識の高さが、子ども達を高めることにつながると考えます。その計画を何度も練り直し、より実効性のあるものへと高めていきます。避難行動計画は使えてこそ、意味あるものになります。環境の変化や人の変化によって、とるべき行動が変わります。また、災害によっても同じです。その変化に対応できるように計画を練り直し、訓練を繰り返します。時には、一日に一回は、頭の中で避難行動をイメージし、非常時でのスムーズな対応ができるようにすることも有効であるとも考えます。「地震だ。こうして、ああして、こう逃げる。こう子どもたちを避難誘導する。」という具合にです。ほんの数秒間のイメージです。短い時間ですが、効果は絶大であると考えます。いつ起こるかかわからない災害等に対応するための自立(律)にむけて、地域・学校での連携を深めていければと考えます。皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い致します。(裏面には「地震・津波避難訓練の様子」を掲載しています。)

登立の朝

太陽の光、澄んだ空気の中で、清々しさを感じながら一日をスタートさせます。



卯月号では、子供たちの「態度づくり」についてお伝えしました。学習や生活における本質をつかむことや他者と善く関わる土台となるための重要な教育活動であると考えます。態度は身構えです。善きことと判断し、すぐに行動に移す内なる力としての育成に励んでいきます。「学びづくり」については、子供たち個々への関わりを深めていきます。一人一人が学習への達成感や満足感を得られるように、みんなで進める話し合い活動やICT機器を活用した学習活動を工夫していきたいと考えます。熊本の学び・上天草の学びの実現です。本校での生活と学びが、子供たちの将来を創り、生きて働く力からなるように、誠心誠意教育活動を進め、この善き習慣を伸ばし、高めていきたいと考えます。ご家庭でのご指導をよろしくお願いいたします。

いじめ根絶にむけて

いじめの根絶の鍵は、「未然防止」「早期発見」「早期対応」にあります。そのために視点を高く、視野を広くもち、子供たちの生活状況と人間関係を注視していくことに力を入れています。その際、「ちがいを」をキーワードに、「今までの変化」に立ち止まってみるのが大切です。言葉遣い、表情、遊び方、あいさつの声、居場所等に子供たちの様子に違いを感じたら、まず対人関係に課題を抱いていないかを探り、必要に応じて面談します。子供たちが抱える課題は、自力で解決できる場合と大人が支援しなければならぬ場合があります。その見極めのために「ちがいを」捉える努力、そして子供たちが自己開示できる信頼関係づくりが大切であると考えます。いじめは、「どの子供にも起こりうる、どの子供も被害者にも加害者にもなり得る」という事実を踏まえ、子供たちの尊厳が守られ、子供たちをいじめに向かわせないための未然防止、早期発見にすべての我々大人が取り組んでいかなければならないと考えます。

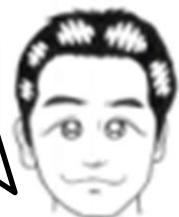
ともだちと仲良く過ごす方法

- ①「してはならない、言うてはいけない」とわかっているのにしてしまう、言うてしまうのは、どうしてなのかを考えて自分の弱さ・醜さの克服に努めよう。
- ②相手に優しくすると、どんな気持ちで、どんな行動をとればよいかを考え、実行しよう。
- ③相手がうれしくなることを考え、それを実行することが大切だと考えよう。
- ④大好きな人って、どんな人なのか考えてみる。「大切な人は、自分にやさしく、よくしてくれる人であるはず。だったら自分も友だちに対して、そんな人になろう。なれなくても、そんな人になろう。という気持ちを大事にしよう。」と考えよう。
- ⑤優しい心になると、誰もが優しい表情になれるということを意識しよう。
- ⑥「自分も強くなること。」「強い心をもって、少しのことを気にしないこと。」「そのこと(些細な出来事)よりも、もっと気にしたり、しっかり考えなければならないことがあることを自分に言い聞かせていこう。」
- ⑦目標は、達成したら終わりではない。達成したことを自分の力にして、次に向かおうとする意識と態度が大切なんだよ。
- ⑧相手の表情や行動を見て、相手の気持ちを推しはかることができれば相手に応じた対応ができるんだよ。
- ⑨けんかやすれ違いは誰にでもある。大切なことは、その関係を修復する方法を知っておくことなんだよ。
- ⑩よいところをほめられ、認められるとうれしくなる。そして、ほめ、認めてくれた人のことが大好きになるんだよ。
- ⑪言葉の力は大きいこと。「ありがとう」という言葉は、人を幸せにすんだよ。
- ⑫今の自分があるのは、周りにいる人、関わりのある人のおかげであると感じること。そのことに気づいた人が幸せになれるんだ。
- ⑬自分が生きていることを自分の力と考えず、支えられ、関わり合っていると感じられたら、その人々に優しくなれるんだ。

登立小のリーダー「賢く、強く、優しい6年生」に伝えたいこと



6年生と、これからの「のびっ子の成長」について考えました。
 最上級生として、常に頑張る姿を見せてくれている6年生には、「優しさ」「頼もしさ」「かっこよさ」を感じています。
 その姿が、のびっ子の目標となって、本校の学校生活と学習を高めます。みなさん、期待していますよ！



先生たちの目標
 心と頭と体をつかい・のびっ子どもにそれは、「笑顔・元気・命輝くのびっ子」です

のびっ子の目標
のびっ子 笑顔大作戦
 ~まず「元気」「優しさ」「勇氣」を自分で作り出してみる~

作戦成功へのスローガン
すすんで！ 自分で！ 自分たちで！

納得のいく自分をつくるためのキーワード

夢 **正義**
強さ **成長**
家族 **仲間** **勇氣**

「笑顔大作戦」の3つのミッション

ミッション①
 はっきりとした目標を、強くもって**元気**を続ける

ミッション②
 相手を思いやり**優しさ** (いのち)を大切に行動する

ミッション③
 生活・学習の中で「する**勇氣**」「しない**勇氣**」をいつも出せる

必ず実行すること

①学び...自分の学習の様子から「どうしたいか」を、みんなに伝える
 ②生活...あいさつを、いつでも考えてできる (運事は「は」と「い」あいさつは名前を呼んで、止まって)
 ③環境...学校のことを考えて、一生懸命に働ける (掃除・ボランティア・後始末)

そのために、のびっ子全員が次のこと理解する

- 「心を育てる」という考えをもって学校生活を送る
- 「自分の生活」にこだわりをもつ。そのために考えや意見を述べ合う
- 「自分でできる力」をつけるために、先生の力をかりる
- 「自分の力を育てる」という考えをもつ

一人の力ではなく、全員の力で「本物の姿」を実現します。

頭のかたすみに 心のどこかに 持ち続けること

◇学習では→**学ぶ力を高める**
 自分の学びの状態を考えて、どうすればいいか学び方を選んで学習を進める

◇生活では→**友達関係をよくする**
 自分のよさ・強さ、そして弱さを表して、友達と互いに理解し合う

◇のびっ子のプライド→**心の力をつける**
 みんなを大好きになり、みんなから大好きと言われる

友達に遠慮せず 先生に遠慮せず 自分に遠慮しない

みんな仲間、友達、味方だよ！
 一人では、何もできない。
 でも、仲間、友達、味方がいれば
何でもできる。うまくいく。

地震・津波避難訓練



命を守る学びの一環として、避難訓練を実施しました。今回は「地震被害の回避」「津波被害の回避」を目的に、地震から津波を想定した訓練でした。



一番近い出口から屋外への避難行動です。全員が真剣に避難行動をとりました。

避難場所は海拔31mにあります。場所を提供いただいている大瀬建設様には心より感謝申し上げます。のびっ子の命の砦です。

「自分で、自分たちで」の具現化 児童総会



のびっ子会の企画運営で、よりよい学校生活について提案がありました。各委員会からは活動目標、年間計画の紹介があり、アイデアいっぱいの委員会活動が計画されていました。のびっ子会からは、SDGsに注目した「のびっ子SDGs大作戦」の予告があるなど、盛りだくさんの児童総会となりました。総会の最後には、先生たちからたくさんの感動を伝える言葉がのびっ子たちに伝えられました。「すすんで、自分で、自分たちで」の学校づくりが進んでいます。

のびっ子SDGs大作戦

「のびっ子SDGs」とは、のびっ子と登立小の「やるべきことのリスト」です。持続可能な未来の登立小のための設計図です。

SDGsとは、持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) の頭文字「SDGS」を合わせたものです。意味は2030年までに、ずっと続けられるもので、よりよい世界を目指す世界目標です。17のゴールからなっています。地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。日本も積極的に取り組んでいます。

朝の読み聞かせ活動

朝の読み聞かせ活動がスタートしました。熊日童話会の方々のご厚意により、長年続いている本校の学校支援活動です。今回は1年生、3年生、5年生が対象でした。お迎えから活動の進行まで、図書委員会の6年生がお世話してくれました。朝からとても楽しい時間が過ごせたのびっ子たちでした。



図書委員のみなさんが進行をしてくれました。

熊日童話会の橋本先生・藤原先生・愛甲先生が来校され、読み聞かせをいただきました。

児童会活動(環境委員会)



キャップがワクチンになる流れ

1. 各小のキャップは、環境委員会の協力により、リサイクルセンターへ送られます。

2. 送られたキャップは、UNICEFを通じて、JCVへ送られます。

3. JCVは、UNICEFを通じて、世界のワクチンへ送られます。

環境委員会の常時活動として、ペットボトルキャップを集めを行っています。世界の子どもにワクチンを日本委員会の活動への賛同した取組です。約千個でワクチン一人分になります。のびっ子たちの活動が命を救う行動につながっています。のびっ子の尊い活動にご協力をお願いいたします。